

別記様式(第5条関係)

会議録

会議の名称	第16回登米市環境審議会
開催日時	平成30年3月20日(火) 午後2時開会、午後3時55分閉会
開催場所	登米市南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	嶋田哲郎
出席者(委員)の氏名	【学識経験者】 嶋田哲郎、高橋由紀子 【関係団体】 佐野和夫、佐々木衛、佐藤ヒサ子、只野好子、佐藤博 【市民(公募)】 渡邊忠雄、及川守
欠席者(委員)の氏名	【関係団体】佐藤芳男、佐藤律子 【関係行政機関】 石川政彦、須藤昭弘 【市民(公募)】 西條正典 【市長が必要と認める者】及川俊弘
事務局職員職氏名	市民生活部 部長 新井誠志、次長 佐藤浩、環境課 課長 佐藤幸子、課長補佐兼係長 大宮兵治、係長 菅原直樹、係長 浅井顕裕、主査 鈴木英樹
議題	1 議事 (1) 会長の選任について (2) 第一次登米市地球温暖化対策地域推進計画に係る2013(平成25)年度の二酸化炭素排出状況について (3) 第二次登米市環境基本計画の進捗状況について 2 報告 (1) 平成28年度環境報告書について (2) とめ生きもの多様性プランの進捗状況について
会議結果	会長の選任について 会長は嶋田哲郎委員を選任。
会議経過	別添のとおり
会議資料	資料1 第一次登米市地球温暖化対策地域推進計画に係る2013(平成25)年度の二酸化炭素排出状況について 資料2 第二次登米市環境基本計画平成28年度進捗状況 報告資料1 平成28年度登米市環境報告書 報告資料2 とめ生きもの多様性プラン平成28年度進捗状況

発言者	議題・発言・結果
事務局 市長	辞令交付式 開会 開会挨拶
事務局 暫時議長(副会長) 委員 暫時議長(副会長) 事務局 暫時議長(副会長) 委員 議長(会長) 事務局 議長(会長) 委員 事務局 委員 事務局 委員	<p>委員及び出席職員の紹介</p> <p>会長の選任を行う。 登米市環境基本条例第34条第7項の規定に基づき、会長は委員の互選によって定めることになっているが、互選の方法について、委員の皆様からご意見をいただきたい。</p> <p>事務局案があれば提示いただきたい。</p> <p>事務局で腹案があれば願います。</p> <p>事務局案として、会長に嶋田哲郎委員を提案する。</p> <p>事務局案の提案があったが、いかがか。</p> <p>(全会一致で承認)</p> <p>(議長交代)</p> <p>それでは議事に入る。(2)第一次登米市地球温暖化対策地域推進計画に係る2013(平成25)年度の二酸化炭素排出状況について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料1「第一次登米市地球温暖化対策地域推進計画に係る2013(平成25)年度の二酸化炭素排出状況について」を説明)</p> <p>ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見を願います。</p> <p>目標達成まで厳しい状況のようであるが、目標達成ができなかった場合はどうなるのか。</p> <p>結果そのものが今現在の数値で平成25年度が最新値となっており、後からの評価となっている部分もあり、特にこれが達成できなかったからといって何かというのはないが、国際的な取り決めの目標数値に近づくように目標設定している。</p> <p>二酸化炭素排出量の算出については按分で算出しているようだが、例えば人口割りで算出したようなイメージで良いか。</p> <p>県が算出した全県分の二酸化炭素排出量から按分しており、例えば運輸部門であれば、自動車保有台数から按分しており、また、民生家庭部門であれば世帯数からそれぞれ按分して計算している。</p> <p>現状の評価から登米市としてどのような対策を取るのか。</p>

事務局	<p>全体的な傾向であるが廃棄物がなかなか減らないというところもあり、この辺については取り組んでいかなければならないし、民生業務というのは、サービス関連産業や公的機関のオフィスでの業務をすることが分類されるが、この辺はコンピュータ化など進み、電気の使用量が伸びており、そのような事業所への協力を進めていかなければならないような思いがある。</p>
委員	<p>運輸部門の自動車保有台数について 76,469 台で算出しているが、これは排気量関係なく一律の台数で算定しているのか。内訳を教えてください。</p>
事務局	<p>この自動車保有台数については、宮城県市町村別保有車両数として、東北運輸局で公表しているものであり、内訳として貨物、乗合、乗用、特殊、小型二輪、軽自動車の全ての車両の台数として計算している。</p>
委員	<p>廃棄物について一般廃棄物排出量となっているが、生ごみなどの内訳はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>一般廃棄物については、国際的なルールで地球温暖化対策関係の計画に使う一般廃棄物の文言は、国際的な取り決めによりプラスチックごみとしており限定されている。なぜかという、生ごみや紙くずはバイオマス起源の廃棄物ということになり、焼却によって二酸化炭素は排出するが、それまでの過程の中で二酸化炭素を吸収しているという考えに基づいている。</p>
議長(会長)	<p>では次に(3)第二次登米市環境基本計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2「第二次登米市環境基本計画平成28年度進捗状況について」を説明)</p>
議長(会長)	<p>ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>実施計画(前期)の進捗状況の通番30と通番34の「下水道等の整備状況」の項目が同じ内容になっているが、何か意図があるのか。</p>
事務局	<p>この実施計画については、それぞれ基本目標のほかにもさらに分類されており、同じ内容のものがあり、今お話しした下水道等の整備状況については、基本目標2の生活環境が守られ、安全で快適に暮らせるまちとしての生活環境の部分であり、大気環境の保全の悪臭対策としての部分に通番30に下水道の整備推進が掲載している。さらに水質土壌環境の保全ということで、この部分で通番34の下水道の整備推進を記載しており、下水道の整備を推進することで悪臭の対策にもなるし、水質改善の対策にもなるということで再掲されている。このような分類で再掲されている事業が他にも何件かある。</p>
委員	<p>水質の関係で、長沼や伊豆沼は継続的にワースト10に入っているが、実際のところ順位はどれくらいなのか。</p>
事務局	<p>水質については、伊豆沼、長沼の水質測定結果の最新値が平成28年度であり、長沼については、水質の測定については閉鎖性水域の場合にはCOD値のみの基準となっている。それで長沼については、COD値で7.5mg/lで全国ワースト7位、伊豆沼に関しては11.0mg/lで全国ワースト1位になっている。このCOD値については、COD値だけを基準としているだけの結果であり、ほかの数値を見た場合には、基準値を満たしている状況である。</p>
委員	<p>太陽光発電システムの設置件数について、目標の37年度に2,500件の設置としているが、この目標は単年度に2,500件を設置することか。また、今は様々な企業がメガソーラーを設置しているが、これは市民レベルの太陽光発電システムの設置件数なのか。</p>

事務局	太陽光発電システムの件数については、10kw 未満と記載しているように売電専用ではなく、余剰電力を販売するということで、一般家庭用のものとしている。また、目標値の 2,500 件については今までの累計ということになる。この数値については、資源エネルギー庁で統計データをホームページで公表しており、10kw 未満の太陽光発電の許可件数となっている。
委員	メガソーラーはこの設置件数の中には反映されていないのか。
事務局	この指標については、太陽光発電システム 10kw 未満としているのでメガソーラーは含まれない。
委員	環境美化の推進について、通番 93 の環境課の取組みの評価が順調で今後の方向性が継続となっているが、土木管理課の道路愛護団体への活動謝金の交付については、評価が概ね順調となっているので、どのような基準で評価をしているのか。
事務局	評価については、各担当課の評価として自己評価になっている。環境美化については一斉清掃など、この項目については市民協働ということであり、市民が主体となって行っている活動に対する支援的な部分もあるが、一斉清掃については、各町内会の協力の下順調に現在も行っている。ただ、道路愛護団体については、土木管理課の担当となっているが、道路の環境整備の方で、植栽等の活動を実際に行い、道路の環境美化が図られたことで、概ね順調という評価をしていると思われる。
委員	ごみの再資源化率について、スーパーで回収しているものや作業所で回収しているものもあるが、それらは含まれているのか。
事務局	ごみの再資源化率については、平成 28 年度実績で 22.7%となっているが、米山にあるリサイクル協同組合に集まった資源ごみとして回収したものと、クリーンセンターにごみとして運ばれたものの中からの資源を合わせたものが 22.7%となっている。これに今年度、調査したもので、スーパーでダンボールやペットボトルを回収してポイント制となっているものもカウントすることで調査をした。それを加えると 25.6%の数値になる。今年度この途中で調査したもので、今回の報告書では資源化率に加えていないが、次年度からはそのような数値も加えて把握したいと考えている。
委員	あやめ園や工房なかまの作業所でもかなり集めており、それらを含めると再資源化率が増えるのではないかと思うし、それが実績となり、市全体の実績につながっていくと思われる。
事務局	これまでこのような作業所の数値は把握していなかったもので、そのようなものも資源化になるので今後調査しながら把握していきたい。
委員	下水道の整備推進について、公共下水道及び農業集落排水の件数を教えてほしい。
事務局	件数については、別冊の報告資料の「登米市環境報告書」20 ページに9町ごとの設置状況を掲載しているので、今の質問の答えになる。
委員	アメリカシロヒトリが河川沿いに大量発生したが、アメリカシロヒトリの駆除について市ではどの程度行っているのか。
事務局	毎年アメリカシロヒトリの対策協議会として、県を交えて会議を開催しており、河川を管理している県や河川事務所に要望は伝えているところであるが、予算等の関係で全面的な木の伐採については、難しいというところがある。また、水辺ということで、なかなか薬剤散布等がしにく

	<p>い部分もあり、動物愛護の関係で止めてほしいという声もある。会議の中では県もメンバーになって一緒に進めているので、引き続きお願いしていく。</p>
議長(会長)	<p>では次に、4報告、(1)平成28年度環境報告書について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(報告資料1「平成28年度登米市環境報告書」を説明)</p>
議長(会長)	<p>ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>BDF使用量について前年度と比較すると平成28年度が減っているが原因は何か。</p>
事務局	<p>これまでBDF利用は市民バスや公用車、トラック等のディーゼル車両に利用していたが、ディーゼル車両の改良が進み、最近のクリーンディーゼルのような車両には、今のBDFが利用できない状況なので、使用できる車両がなくなったのが原因である。その車両に使っていた分をはんとく苑のボイラーなどで使用することになっている。</p>
議長(会長)	<p>では次に、(2)とめ生きもの多様性プランの進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(報告資料2「とめ生きもの多様性プラン平成28年度進捗状況」を説明)</p>
議長(会長)	<p>ただ今の事務局の説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>イヌワシの生息状況について、今現在どのような状態になっているのか、実際に生息する現場に行って県や南三陸と協力して一歩踏み出してほしい。そうすることで、餌場をどうするかなどの話にもなってきたら具体的な対応ができると思われる。</p>
事務局	<p>この報告書は28年度の実績になるが、今年度の29年度の事業で「人と野生動植物の共生を考えるつどい」の中で、事例発表として南三陸ネイチャーセンター友の会から発表をいただき、取組内容等の報告をいただいている。その中で木の伐採等を協力して行っているという報告もあり、当市でも民間の団体等に声がけをして、もし出来れば一緒にそのような活動を取り組みたいという話を内部で話していたので、そのような取り組みを具体化できるようなことを検討させていただきたいと思っている。</p>
議長(会長)	<p>他になければ、以上で本日の環境審議会は終了させていただく。</p>
副会長	<p>閉会の挨拶</p>